すぎもり地区協議会だより

平成29年(2017年)7月
No7

4月22日防災教育の日(撮影　土井)

防災教育の日　起震車で震度7を体験!

地域の一員として —— 地域のふれあいの中で成長する三中生

調布市立第三中学校 校長　金光淳一

あと僅かで子どもたちは夏休みに入ります。家庭や地域で過ごす時間が多くなります。学校では災害に対しての備えとして、避難訓練や防災の授業を行っています。しかし、災害は時間や場所を選んではくれません。夏休み中に何も起こらないことは願いますが、果たして生徒はその時、相応しい行動がとれるのか心配です。災害講話の時に私は「先ず、自分の命を守り、その命で他人を助けなさい!」と言います。もう中学生は地域の方と協力し、一人の大人として活動することが求められます。そのためにも、自分の命を大切にして欲しいと願います。

すぎもり地区協議会の皆様には、本校中学生に調布市防災教育の日を初めとした関わりをもっていただき感謝しています。地域のふれあいの中で三中生は成長しています。また、地震のみならず昨今は地球温暖化の影響を受けて異常気象が目立ちます。この夏も超高温の夏と予報されています。それを起因とする台風やゲリラ豪雨等にも注意をしなければなりません。中学生には、困難に直面した時こそ持ち合わせる知識をフル稼働させ、困難に立ち向かう強い心を期待し、今後とも地域の皆様からのご指導を願いたいと思います。

4/22 防災教育の日

4月22日、調布市「防災教育の日」に、すぎもり地区協議会として、避難所開設訓練を行いました。これは、調布第三中学校・杉森小学校との共催で、今年で4年目となります。アルファ米の炊き出し、災害用トイレやテントの組立てなどを行い、多くの地域の方々・保護者・生徒にご参加いただきました。今後も多くの方にご参加いただき、災害時の助け合い組織を目指します。

すぎもり地区協議会
会長　大野祐司

参加された方に感想をうかがいました

起震車ではじめて震度7を体験しました。強烈な揺れ…怖いですね。自宅は家具の転倒予防、水や非常食の準備など気をつけているつもりですが、実際地震が起きたら、ただただ恐怖心のみで行動できないんじゃないかと不安になりました。

過去に何度も防災訓練に参加しましたが、引っ越してきた染地では、初めての参加になります。起震車は何度経験しても怖いです。ただ、今回は免震対応の建物では揺れが大きく違うことを知りました。実際体験すると余裕ができると思います。

実際、大きな地震を体験したことはありませんが、今回スクリーンで地震の様子を見て、まるで自分が地震を体験したような思いになり、いろいろ考える機会となりました。

昨年染地に引っ越してきました。起震車で実際に震度7の揺れを体験しました。物が倒れたりすると、冷静に判断できるのか不安になりました。

28年度助成金でテントとストーブ4台を購入しました。

三中に設置できる災害用マンホールトイレを見学しました。

10月15日(日)、すぎもり地区協主催の「防災訓練」を行う予定です。ぜひご参加ください！

5/20

平成29年度定例総会が行われました

左から大野会長、中島副会長、大町副会長

5月20日(土)染地地域福祉センターにおいて定例総会が開催されました。杉森小 森田校長先生、調布市文化スポーツ部宇津木様、城戸様、協働推進課萩原様、調布市消防団第7分団金子様からご挨拶をいただき、平成28年度活動報告、決算報告、平成29年度活動方針、予算案等4議案すべての議案が審議承認されました。

平成29年度活動方針

1、地域の防災力強化に重きを置いた活動に当たります。
2、顔の見える地域を目指し、「すぎもり地区協議会」の周知やネットワークの形成に努め、広く地域課題の把握・検討に当たります。

ボランティアまつりに参加しました

5/21

真夏のような強い日差しの中、今年も楽しくアルファ米600食の炊き出しをして、地域の皆さんにお配りしました。また、ステージでも恒例の作り方実演を行いました。今年のアルファ米は五目御飯で、作るときにお湯が多いとおじやのようになってしまうので要注意でした。大盛況のうちに配り終わりましたが、何より三中の吹奏楽部や、三中ボランティアの皆さんのお手伝いが嬉しく、汗をかきながら張り切って今年も働いてくれました。いつもありがとうございます。来年もまたよろしくお願いします！ (来田)

調布消防署 国領出張所 新庁舎落成式

新たな地域防災の拠点が完成！

6/15

昭和42年に調布市内に2番目に出来た「調布消防署国領出張所」は建物の老朽化に伴い、2015年春から改築工事が始まりました。2年間の工事期間を経て先日6月15日落成式が行われました。

新庁舎は、地下1階・地上3階建、外観の白い壁面に赤のラインが目を引く斬新なデザインです。照明はすべてLEDを使用し、屋上にはソーラーパネルを設置、敷地内には植栽も多く(CO_2削減のため)、人と環境にやさしい庁舎となりました。地下1階に設置された防災教室は、地域の方にも広く活用していただけるように配慮されています。

7月3日から新庁舎での業務が始まります。地域防災の新たな拠点として、その活躍を期待する声が参列した多くの方から寄せられました。 (根津)

講演をする柴田さん。この日はNHKの取材もあり、夜のニュースで放送されました。

いざというときのために

ITを活用しよう

2月25日、杉森地区にある大規模集合住宅ソフィアとフォルスコートの合同防災訓練に於いて、ITコンサルタント柴田哲史（さとし）さんの講演会が行われました。柴田さんは災害が起こると現地にすぐさま駆けつけ、災害ボランティアセンター等でネット環境とIT機器を整備しています。

「3.11以降、伊豆大島、広島、前橋、常総、熊本の災害IT支援活動を実施しています。ネット環境を整え、現地の様子を"見える化"することで、ボランティアの人数の予測ができたり、受付等がスムーズになります。また、ネットを使って今必要な物を呼びかけると、すぐ反応が返ってくる。ネット環境を整えることは避難所やボランティアセンターの運営を円滑にし、大きな力となります。」

IT機器は苦手と思っている方も、普段からまず使ってみることが大切と呼びかけていらっしゃいました。

調布市防災・安全情報メール

市からの緊急情報や地震情報（調布市震度3以上）、気象情報（特別警報、警報、注意報）、災害情報、国民保護情報、防犯情報などを配信します。登録用メールアドレス c-bousai@sg-m.jp

地域の相談窓口　お気軽にご相談ください。

福祉や介護に関する相談等は…

調布市地域包括支援センター ときわぎ国領

高齢の方やそのご家族が、地域で安心して暮らせるよう、福祉や介護に関する様々な相談ができる総合相談窓口として、調布市から委託を受けている機関です。

担当地区は染地2、3丁目、国領町7、8丁目（8丁目1、4番地を除く）です。

お電話での相談や、状況に応じて職員がご自宅に訪問することもでき、適切なサービス等をご案内しております。

〈電話〉050-5540-0860（9：00～18：00）

生活の相談、仲間づくりの相談等は…

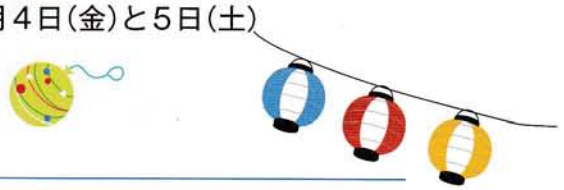
調布市社会福祉協議会 市民活動支援センター

誰もがいきいきと安心して暮らしていくための生活の相談、趣味やボランティアを通した仲間づくりの相談の窓口として活動しています。

- 染地地域福祉センター内　ボランティア室
  ボランティアコーディネーター　渡邉久美子
  TEL 481-3790　火～土 9時～17時
- 調布市総合福祉センター内
  地域福祉コーディネーター　川原 泉
  地域支え合い推進員　北島正也
  TEL 481-7693　月～金 9時～17時

お知らせ

8月 杉森地域納涼盆踊り大会
8月4日（金）と5日（土）



9月 調布市・東京都合同防災訓練
9月3日（日）

YDAS（ワイダス）子ども遊び博覧会in杉森小
9月24日（日）

10月 すぎもり地区協防災訓練
10月15日（日）

杉森地域運動会 学校開放委員会主催
10月22日（日）

調布市花火大会
10月28日（土）

11月 児童館まつり
11月12日（日）

杉森小オータムコンサート
11月26日（日）